

～はなのえん～

花宴

筆（なでしこ入居者：中村 三津子様）

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 古村 成美

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第25号 発行日：平成29年12月1日

健全なる身体機能は
健全なる精神が重要



特別養護老人ホーム山科積慶園
機能訓練指導員 岡本 高志

日々試行錯誤を
重ねながら・・・



特別養護老人ホーム山科積慶園
主任看護師 小島 美代子

機能訓練指導員の岡本です。山科積慶園は開所から丸9年。10年目のスタートの年となり、節目の年となります。開所から働いている私も機能訓練指導員として時が過ぎる速さを痛感しております。

さて2018年に介護保険制度が改定され、介護施設の経営にとって厳しくなるという記事を見る機会が多いです。その記事の中で「身体機能の維持」というワードが以前より増えてきているように思います。街を見渡すと「機能訓練特化型デイサービス」が多数見られるようになってきており、スポーツジムには高齢者の姿も多く見られるようになってきました。高齢化に伴い「身体機能の維持」に関心が増えてきているのだと思います。

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」という古代ローマの言葉がありますが、10年以上高齢者の身体機能を見てきて思う事は、

「健全なる身体機能は健全なる精神が重要である」と感じています。服薬や睡眠の質と時間、覚醒状態、認知機能など精神状態によって身体の動きが全く変わってくるのです。

今後も利用者の「身体の機能訓練」だけではなく、精神状態も加味しながら機能訓練に従事していこうと思います。

初冬になりましたが暖かい日が続いております。

当施設も今年12月で丸9年、10年目がスタートする年を迎えます。これも皆様のご協力とご理解が深いためだと常感謝しております。開所当時から働かせていただいておりますが、この9年で特養の医療や介護において求められることが大きく変貌しています。

特別養護老人ホームでも医療的ケアが必要な方や看取りの受け入れが進んできています。当園でも、可能な限りの対応はさせて頂いていますが、まだまだ検討すべきことがたくさんあります。ご利用者がより良い園での生活を送る事が出来るよう日々試行錯誤を重ねながら、いま何が問題で、何が必要なのか？何が優先されるのか？それを実行するためにはどうしていく事がいいのか？相談しながら、実施していける環境を関係部署やそれを取り巻く方々と共に作っていきたいと思っています。今後とも、ご協力ご理解のほどよろしくお願い致します。

気温差が大きい日もありますので、風邪などひかれませんように体調管理には皆さまお気を付けください。

《夏まつり》

今年も恒例の夏まつりが8月26日に開催されました。夏まつりと言えば御入居者様と御家族様が、普段と違った雰囲気であらゆる交流出来る一大イベントです。みなさん楽しんでいただけたでしょうか?普段と違う雰囲気の中、御家族様と楽しそうに談笑されている姿、屋台で購入された食べ物を楽しそうに食べられている姿、久しぶりにお酒を飲み、いつもと違った表情で楽しまれている姿を見て、私達もとてもうれしく、元気になりました。



プログラム最後の盆踊りでは、たくさんの御入居者様が参加していただき、とても盛り上がった夏まつりになったと思います。来年度も今年以上に楽しんでいただける夏まつりを開催出来るように、スタッフ一同頑張りたいと思います。今回お手伝いいただきました地域のボランティアの皆様、ご協力いただいた方々、お忙しい中、本当にありがとうございました。(藪田)



《敬老会》



9月30日(土)、敬老会を企画しました。古希から百寿までの対象の入居者様とご家族様にもご参加頂き、職員も含め総勢28名でお祝いをしました。敬老会が始まると、皆様いつも以上の素敵な笑顔を見せて下さり、出前のお弁当も美味しく、普段食事が進まない方も楽しそうに沢山召し上がっておられました。最近ではご家族様と食事を共にする機会が少なくなってきたと思いますが、ご家族様とのひとときをすごされ、皆様の幸せそうな笑顔を見られて私達も嬉しい気持ちでいっぱいになりました。(中島)



《外出レク》

11月1日、外食レクリエーションでフレンドリーへ行きました。外は丁度良い気候で晴れ間もあり、車内では皆様とわいわいと楽しく会話をされていました。



お店に到着すると、入居者様はいつもと違う雰囲気に少しドキドキされた様子で、ハンバーグやから揚げやドリンク付きのランチを注文されました。注文の料理が運ばれてくると、



熱々のハンバーグを早く食べようとされたり、ジュースのお代わりをされたり、デザートを追加注文をされたりと、全員がたのしく食事をされていました。

入居者様・ご家族様・職員お互いに会話も弾み、楽しい時間を共有することができました。(岸見)

《運動会》



秋の運動会で、パン食い競争を行いました。今年は各フロア物干し竿に洗濯バサミでパンを吊るし、入居者様にとって頂きました。手を使ってはいけないという事で、入居者様は悪戦苦闘しながら、パンを取られていました。



最初は行かないと言われていた

入居者様も、再度声掛けをすると参加され、普段以上の笑顔がみられて楽しそうに競技をされていました。(澤村)



きょうと福祉人材育成認証を いただきました！！



人材育成に積極的に取り組む福祉事業所を京都府が認証する制度です。今後もより良いサービスの提供に努めていきます。認証書は事務所窓口に飾っていますので、みなさんご覧下さい。

医務室だより ～～低温やけど～～

「低温やけど」とは、カイロや湯たんぽなど、長時間触れ続けることによって起きる火傷で、皮膚の奥深くでじっくり進行し、症状が見た目にわかりにくく、痛みを感じにくい為、軽症と勘違いしてしまいます。普通のやけどよりも重症となりやすいので注意が必要です。原因として、湯たんぽ・電気あんか・電気毛布があり、厚手のタオルや専用カバーなどで包んでも「低温やけど」を起こす恐れがあります。



これらは、就寝前に布団を温める目的で使用するようにし、就寝時は布団から出したり、電源を切りましょう。また、使い捨てカイロは必ず衣類の上から使用し、同じ箇所長時間当てないようにします。

低温やけどになった時は、必ず医療機関を受診し適切な治療を受けましょう。

(小島)

デイサービスセンター

ぬくもり

4ヶ月の行事

《出前レクリエーション》

利用者様から「お寿司を食べたい！」と声がたくさんあり、今回は出前レクリエーションの企画をしました。以前にも出前レクをしておすし屋さんの散らし寿司が大好評だったので、今回も同じお店で散らし寿司と天ぷらと茶碗蒸しのセットを注文しました。ボリュームがあったのですが、ほぼ皆様が完食され「美味しかった」「また食べたい」声がたくさんありました。



《買い物レクリエーション》

今回の買い物は久しぶりに滋賀県の琵琶湖大橋の手前にある「道の駅米プラザ」へ買い物に行ってきました。全ての日が天候もよく、気持ち良かったです。買い物中、じっくり考えて買物をされる方や、前もって買う物を決めて買われる方、人それぞれでした。買い物が終わった後、喫茶コーナーでおやつを召し上がっていただきました。暑かったせいか、ソフトクリームを注文される方が多かったです。



《ぬくもり大運動会》

毎年恒例のぬくもり大運動会を開催しました。今年も3種目の競技に参加していただき、皆さん頑張って一生懸命に競技をされていました。特に玉入れは盛り上がり、皆さん必死で玉をかごに入れていました。中には終了の合図が鳴っても入れようとされる方もおられました。優勝され喜んでおられる方、負けて悔しがっておられる方もいましたが、終わった後は皆さん「楽しかった」とおっしゃっていました。



《紅葉ドライブ》

今年の紅葉ドライブは京都方面へ行きました。川端通りや堀川通り、宝ヶ池方面を走りましたが、通るところ全てがとても綺麗で、利用者みなさんはとても満足そうな様子でした。帰り道に焼き芋を購入し、帰ってから召し上がっていただきました。「楽しかった」「また来年も行きたい」という声がたくさんありました。



*****編集後記*****

今号では夏まつりと大型イベントの様子をお届けさせて頂きましたが、あとわずか一ヶ月で新しい年を迎えます。寒暖の差が厳しく、体調を崩さないよう、皆様お気をつけて下さい。12月は恒例の開設記念行事・マグロの解体ショーがあります。お腹一杯召し上がって下さい。

寒さが厳しくなりますが、入居者の皆様が元気になれる企画をたくさん提案しますので、楽しみに待っていて下さい。(大浦)